

(行政報告)

行財政改革方針の令和4年度決算における実施目標の達成状況
等について

経営企画部

市では、令和3年11月に、令和8年度までを計画期間とした「行財政改革方針」を策定し、令和3年度から行財政改革に取り組んでいます。

この「行財政改革方針」は、「歳出削減」、「事務執行体制の見直し」、「歳入確保」を3つの柱とし、職員一人一人がこの3つの柱を踏まえた意識改革を行い、財政の健全性の維持に向け、予算編成と一体となり、スピード感を持って取組を進めることを基本方針としています。

また、実施目標としては、実質収支黒字の堅持、適正な財政調整基金残高の確保、実質公債費比率の堅持（18.0%未満）及び経常収支比率の堅持（95.0%未満）を掲げています。

この度は、令和4年度決算における実施目標の達成状況及びこれまでに実施した主な取組について別紙のとおり報告いたします。

市といたしましては、第6次白岡市総合振興計画に掲げたまちの将来像や基本目標の実現に向け、社会情勢など市を取り巻く環境の変化にも対応しながら、更なる行財政改革に取り組んでまいります。

行財政改革方針の令和 4 年度決算における

**実施目標の達成状況 及び
これまでに実施した主な取組
について**

(令和 3 年 11 月～令和 5 年 3 月)

令和 5 年 8 月



白岡市
Shiraoka City

1 令和4年度決算における実施目標の達成状況

財政の健全性の維持

- 実質収支黒字の堅持
- 適正な財政調整基金残高の確保
(標準財政規模の10%)
- 実質公債費比率の堅持
(地方債発行の同意基準である18.0%未満)
- 経常収支比率の堅持 (95.0%未満)

* 将来負担比率については、実質公債費比率の堅持や財政調整基金残高の確保により、適正な比率となるものです。

「白岡市行財政改革方針」より

指標	実質収支	財政調整基金残高	実質公債費比率	経常収支比率
令和4年度末	黒字	11.9%	4.6%	89.3%
結果判定	達成	達成	達成	達成

2 令和4年度までに実施した主な取組

(1) 歳出削減

▲768,838千円

ア 既存事業の見直し

▲768,838千円

スクラップ・アンド・ビルドの考え方により、新規事業を実施する際は既存事業の廃止・縮小等をしたうえで予算要求するよう徹底します。

また、事業の実施については、新規事業や既存事業に関わらず、優先度や重要度を基準として判断することとし、実施に当たっては、常に費用対効果や終期設定等を意識した進捗管理をすることにより、事業費の抑制を図ります。

併せて、日常業務に対してコスト意識を持って取り組むことで、節電の徹底や事務用品の節減、除草等に係る委託料の削減など、経費の節減に努めます。

「白岡市行財政改革方針」より

●全事業の抜本的な見直し

→翌年度の当初予算編成に当たり、予算編成方針で示した基本的な考え方に基づき、事業の見直し（廃止・統合等）を実施した。

363,923千円を削減（令和3年度）

355,481千円を削減（令和4年度）

●職員対応による委託料の削減

→庁舎周辺等の一斉清掃を実施した。

1,600千円を削減（令和3年度）

2,000千円を削減（令和4年度）

*削減額は、除草業務を業者へ委託した場合と比較した額

●備品台帳の整備による備品の共有化

→備品を庁内システムに掲載することにより共有化を図った。

（令和3・4年度）

●公用車の削減

→令和3年9月から集中管理車を6台減らし20台とした。また、令和4年11月からさらに集中管理車を1台減らし19台とした。

820千円を削減（令和3年度）

1,754千円を削減（令和4年度）

*削減額は、公用車をリース契約した場合と比較した額

→市長車運行関連経費を削減した。

8,280千円を削減（令和3年度）

8,280千円を削減（令和4年度）

*削減額は、令和2年度までと同様の体制をとった場合と比較した額

●ESCO事業の実施による早期LED化

→防犯灯、公園灯、道路灯、学校体育館照明、スポーツ施設照明をLED化した。（令和4年度）

電気を約6割、CO2排出量を約7割削減

●下水道使用料の見直し

→令和4年10月からの料金改定を実施した。

一般会計からの繰り出しを19,400千円削減（令和4年度）

●敬老事業の見直し 7,300千円を削減（令和4年度）

イ 補助金等の制度の見直し

市が交付する補助金等について、公益性、行政の責任分野、経費負担、行政効果等について検討したうえで、目的が達成されているものについては廃止するなど、組織の在り方を含めた補助の抜本的な見直しや補助要綱の改正等を実施します。 「白岡市行財政改革方針」より

●補助要綱の見直し

→今後の団体等運営費補助金交付事務の適正な執行に資することを目的として、団体等運営費補助金が関係法令に基づき、適正に交付されているかを審査し、不備な点を是正した。（令和3・4年度）

ウ 公共施設の統合再編

人口減、少子高齢化の進展を見据え、地域の実情や施設の特徴に合わせた公共施設の統廃合や複合化・集約化、再配置などを計画的に進めながら、施設保有量の低減を図ります。 「白岡市行財政改革方針」より

- 保健センター分館の解体（令和 4 年度）
→都市計画道路整備事業の代替地として活用
- 旧白岡消防署篠津分署の改修（令和 4 年度）
→市役所篠津分館（教育支援センター、高齢者の筋力トレーニングルーム）として活用
- 公共施設再編に向けた実行計画の策定（令和 4 年度）
→地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業のアドバイザーから提供された公共施設削減目標算出シートに基づき本市の更新可能割合を試算した。また、市の現状について共通の理解を深めるため、市職員（管理職）と市議全議員を対象として合同で研修会を開催した。

(2) 事務執行体制の見直し

▲25,154 千円

ア DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

現在、全ての自治体において、国が策定した「自治体 DX 推進計画」に基づき、「自治体情報システムの標準化・共通化」「マイナンバーカードの普及促進」「行政手続のオンライン化」「AI・RPA 利用推進」「テレワークの推進」「セキュリティ対策の徹底」の6つの推進が求められています。

本市についても、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術の活用により住民の利便性を向上させるとともに、AI等の活用により業務の効率化を図り、行政サービスの更なる向上につなげていきます。

「白岡市行財政改革方針」より

- 行政手続の押印の見直し
→押印の義務付けを約95%廃止（令和3年度）
- オンライン申請の導入
→埼玉県市町村電子申請・届出サービスや民間企業のサービスを利用した証明書等のオンライン申請を導入・拡充（令和3・4年度）
証明書のコンビニ交付を導入（令和4年度）
- Web会議の利用推進
→庁舎内にWi-Fi環境を整備（令和3年度）
庁舎内にコワーキングスペースを整備（令和4年度）

● AI・RPA の利用推進

→議事録自動文字起こしを導入（令和 4 年度）

● ペーパーレスの推進

→庁舎内 LGWAN 回線の無線化を実施（令和 4 年度）

● マイナンバーカードの普及促進

→マイナンバーカード・マイナポイント申請手続の支援を実施（令和 4 年度）

【参考】マイナンバーカードの保有率が県内の市で第 1 位

（令和 5 年 7 月末現在）

イ 民間活力の推進

指定管理者制度の導入など、民間団体等の能力を積極的かつ計画的に活用するよう費用対効果を検証して、行政サービスの向上と経費の削減を図ります。

また、社会情勢に対応した行政サービスを提供できるよう、公共施設の管理運営方法についても適宜見直しを図ります。

「白岡市行財政改革方針」より

● 地域コミュニティ活動による公園等の管理作業

→公園等の管理作業に関する認定書を 2 団体に交付し、管理作業を行っていただいた。（令和 3 年度）

新たに、2 団体に公園等の管理作業に関する認定書を交付し、計 4 団体に管理作業を行っていただいた。（令和 4 年度）

ウ 組織の合理化

市民や各地域の抱える複雑化した問題や、分野を横断する行政課題に対応するため、合理的な行政組織を構築することにより、市民の多様なニーズに対応した行政サービスの提供を図ります。

「白岡市行財政改革方針」より

● 組織の再編

→市の組織を 9 部 30 課から 9 部 26 課へ再編（令和 4 年度）

工 働き方改革

▲25,154 千円

職員の心身の健康増進、総人件費の抑制及び職員の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のため、ノー残業デーの徹底や定時退庁の促進による時間外勤務時間の縮減により、安定した職場環境の確保に努めます。

「白岡市行財政改革方針」より

●ノー残業デーの徹底

→庁内放送と一斉消灯を実施（令和 3・4 年度）

●時間外勤務時間の縮減

→13,048 千円を減額（令和 3 年度）

12,106 千円を減額（令和 4 年度）

*削減額は、平成 27 年度から令和元年度までの平均値（81,135 千円）と比較した額

(3) 歳入確保

48,852 千円

ア 公有財産の有効活用

35,713 千円

未利用の公有財産について、早期売却や有効活用をすることにより、維持管理費の抑制及び財源の確保に努めます。

「白岡市行財政改革方針」より

●公有財産の売却

→新白岡地内の市有地を売却 35,600 千円（令和 4 年度）

●公有財産の有効活用

→旧庁舎跡地について保育所を運営する社会福祉法人と事業用地定期借地権設定契約を締結し有料で貸し出した。 113 千円（令和 4 年度）

イ シティセールスの強化

10,474 千円

農商工業の振興、地域経済の活性化、イメージの向上等、市にとって重要な魅力発信及び財源確保につながることから、ふるさと納税の返礼品を充実させるとともに、市職員一人一人が「市の魅力発信者」であるとの意識を持って業務にあたるなど、シティセールスの強化に取り組みます。

「白岡市行財政改革方針」より

●返礼品の充実によるふるさと納税額の増加

→クラウドファンディング型ふるさと納税（地域部活動推進、降雹被害農家支援）の実施	1,700 千円（令和 4 年度）
返礼品の充実（21 品目を追加）	3,386 千円（令和 4 年度）
ウクライナ支援寄付金の募集	5,388 千円（令和 4 年度）

●シティセールスの展開による魅力発信の強化

- 広報しらおか、市公式ホームページ、市公式 Twitter で有料広告主を広く募集した。また、有料広告主をリスト化し、市の魅力が伝わるよう、チラシを送付しただけでなく、直接広告主を訪問した。（令和 4 年度）
- 市の魅力及びマスコットキャラクター「シラオ仮面」の存在を広く発信した。（令和 4 年度）
 - 市制施行 10 周年特番（テレ玉）、Instagram、YouTube などの各種メディア

ウ その他

2,665 千円

●新白岡駅東口駐輪場の閉鎖

- 新白岡駅東口駐輪場を閉鎖したことにより指定管理者の管理経費が削減となり、市への納付金が増加した。 2,665 千円（令和 4 年度）